

第4回「なるには講演会」を行いました

24. 1. 26 掲載 (総務部)

「なるには講演会」は、職業について幅広く具体的に学習することを目的として開催する職業講演会です。講師は本校の保護者の方々等が、それぞれのテーマで担当されます。

参加者は、仕事の内容、仕事に対する心構えなど、実際に働いてみないと分からないことについてお話を伺い、今後の進路意識や学習意欲の向上をめざします。

- 日 時 1月24日(火) 16:40~17:50 会議室
- 講 師 山下 理香さん(JICA四国・香川県国際協力推進員)
- テーマ 国際交流・国際協力の仕事に就くには?
- 参加者数 32名(1年生12名、2年生14名、教員6名)

【講演会の様子】



【参加者の主な感想】

- 講演では、普段考えたことのない興味深いクイズが出され、ワクワクしながら参加できました。国際交流や国際協力について、仕事の内容やどのような気持ちで仕事に取り組めばよいか、イメージが明確になりました。海外に出て、さらに出会いを増やすためには語学の勉強が大切です。そのことが強く伝わってきました。
- 日本語が世界133カ国で学ばれ、最も人気があるのは韓国であることが分かりました。国際交流や国際協力で大切なことは、日本人であることをまず意識すること、現地のルールを学び、また手本とする人を見つけて良いところをまねること、現地の音楽や食べ物等について関心を持ち知識を広げること、などです。香川県から青年海外協力隊として、これまで267名が参加していることを伺い、この仕事についてより身近に感じることができました。国際関係に関心があるので、しっかり英語の力を付けていきたいと思います。
- 楽しく分かり易いお話しでした。海外で多くの日本人が現地に入り、自分の得意分野を生かして、農業や医療などで活躍していることに感動しました。東日本大震災では、163カ国より援助を受けていることに驚きました。普段から国と国の付き合いがあつての援助だと思います。世界に目を向け、お互いが助け合うような仕事に就けるよう、英語や世界のニュースに関心を持ちたいと思います。ありがとうございました。
- 将来、好きな英語を生かした仕事に就きたいと思っていました。山下さんの生き生きとしたお話を伺い、ますます憧れを持ちました。JICAの仕事は私が調べていた以上に厳しいものでした。並みの英語の力ではいけないし、また各国の習慣や文化など広い知識も必要です。今回の出会いを大切に、私の夢が実現するよう頑張ります。